

伊賀市上野西部 公民館だより



第 152 号

平成 27 年 12 月 15 日

編 集 発 行: 上野西部公民館

所 在 地: 伊賀市上野福居町

上野西部地区の人口 世帯数 1,486 人口 3,334 人(内男 1,598 ・ 女 1,736) 27.10.31 現在

上野西部地区 運動会 健康福祉スポーツ部会

11 月 22 日(日)上野西部地区運動会が上野西小学校グラウンドで開催されました。



薄曇りで風も無く穏やかな天候に恵まれ当日は、上野西部地区 18 町から 150 名余りの参加となりました。八尾 自治協会长 挨拶の後、佐藤部会長の合図で運動会が開始されました。午前の部は ① 大玉転がし ② 二人三脚 or 背中でなかよくボール運び ③ 障害物競争 ④ 魚釣り(幼児) ⑤ パン食い競争で午前の部終了。昼食は部会スタッフ準備の温かい豚汁とおにぎりを美味しくいただきました。午後からは ⑥ 天才は誰だ クイズ ⑦ クリーン作戦 ボール(空き缶・ペットボトル)運び ⑧ 借り物競争 ⑨ 紅白玉入れで、



プログラム終了。参加者は皆、笑顔で、たのしみました。準備された健康福祉スポーツ部会・スタッフの皆さんご苦労様でした。



伊賀上野シティマラソン “風になって忍者の里をかけぬけよう”

11月29日(日)伊賀上野シティマラソンが上野西部地区中心に開催されました。



天候に恵まれ第26回となる今年は、3,750名が参加となりました。午前10:05より種目別にスタート。5キロ・ハーフ・3キロ・ファミリージョギング・10キロの各選手が一団となって町中を快走しました。5キロに『伊賀FCくノ一』の選手・監督が参加。沿道住民の盛んな声



援に応え、手を振りながら快走しました。

土のうステーション設置

福居町信号西、イナオカ精工 横 空き地に土のうステーションが設置されました。

近年の集中豪雨による浸水に備え、減災に向け、土のうを事前に地域で活用できる様、11月13日伊賀市により設置されました。上野西部地区では2カ所の設置を要望していましたが、今年度まずは1カ所設置となりました。防水カバーで保護された土のうステーションには70~80個の土のうが収納され、容易に取り出せます。今後、浸水が心配される地区で御活用下さい。



もちつき大会 ～世代間交流事業～ 健康福祉スポーツ

12月6日(日)上野西部地区市民センターで年末恒例のお餅つきが開催されました。



薄曇りの穏やかな天候に恵まれ、子供90名を含む155名が参加しました。10時、開会挨拶後、もちつき開始されました。子供たちは順に大人の手を借り、杵を下ろしま



す。つき上がった餅で、きな粉餅・あん餅作りを体験しました。最後に、ぜんざいを頂きました。幼児から年配の方まで幅広い年齢層が参加、地域の交流が計れました。

往古川 水質検査 往古川の水をきれいにしよう会

12月3日(木)往古川の水質検査が行われました。雨天の中、環境政策課(環境センター)職員により、往古川の検査地点、6箇所【福居町 JA 前、小田新町裏、徳居町 GS 前、木興交差点前、三之西町、緑ヶ丘東町、根本坊池】からそれぞれ採取され、検査されます。往古川堤防は草刈りが行われ、環境整備が行われています。生活排水に興味を持ち浄化へのご協力をお願いします。



料理教室にんじん西部 よい食生活を進めるための集い



12月9日(水)ふれあいプラザ4階調理室で第47回にんじん西部料理教室が開催されました。

今回は『お正月の料理』をテーマに企画され、
○鶏肉のはちみつ照り焼き ○シンプル筑前煮
○だて巻を、調理されました。お飾りも添えられ調理室は、お正月らしい雰囲気となりました。

煌星俳句会

大野利江選評

隠れ里煌々秋のご開帳

炊 規夫

島が原の正月堂ご開帳の今年、仏光にて煌く里。「隠れ里」という言葉がよく効いている。

紅葉して緋絨まとふ鎧岩

安屋 宣子

鎧岩のまとう紅葉を緋絨に見立てている。緋絨とは、緋色に染めた紐などで鎧を威した。

大きくさめ術後の五体震撼す

田畑 寛一

術後、出そうになつて身構えるが、ついに大きくさめが——下5に大いに納得

大銀杏骨を晒して煮一物

辻野 和彦

無一物にて逝きてまた生まれくる宇宙の摂理を感じとれる、潔よいお句。

けんけんぱひとり遊びの寒雀 百上 進一

寒雀でしめている。個性派は今回一茶ばりの句を詠まれていて、まさに自在である。

止まればすぐ止まりくる赤蜻蛉 谷口 恂

遊んで——とやって来たのでしよう、止まればが効いている。誰もが経験おありでしょう。

大袖子の両手に余る香りかな 富田 まり

両手に余る香りと、香りを物体化しているところが手柄。見事な袖子が思われる。

散紅葉踏めばぬくみの伝わり来 蔵本 稔恵

足裏に紅葉の赤が炭火のようにあたたかい。全身にゆき渡るぬくみが詠われている。

雲上の朝日を浴びて鴨飛来 西村 郁子

朝日に祝福され飛来して来た。総身に陽を浴びしばらくこの地を安住と過ごす鴨達。

仇討の辻はもみぢの深絨毯 中森美年子

本懐を遂げたかぎやの辻。今年も芳うようにもみぢの絨毯が敷かれている。

